

平成23年度

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成22年度事業)

<目次>

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 飯能市教育行政の重点施策について	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価	18
5 教育委員会の活動状況と評価	20
6 評価懇話会委員の意見等	23
7 おわりに	23
※ 資料（各所属の評価結果）	24

平成23年8月1日

飯能市教育委員会

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表しなければならないことになりました。

この報告書は、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が、同法の規定に基づき、毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成22年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をとりまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

（1）目的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

（2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

また、点検及び評価を通じて事業の成果等を明らかにするとともに、課題や今後の取組の方向性を明確にすることを目的としています。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から、学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており、これを受け教育委員会では学識経験者等で構成する「飯能市教育委員会評価懇話会」を設置し、毎年度2回開催しています。平成22年度の教育行政の重点施策の評価については、平成22年10月14日に開催した評価懇話会において、中間報告についてのご意見をいただき、平成23年4月20日には、評価結果に対するご意見をいただきました。

＜飯能市教育委員会評価懇話会委員＞

(任期：平成23年4月1日～平成25年3月31日)

会 長	増 田 時 夫	職務代理者	金 井 修 子
委 員	落 合 慎 一	委 員	本 橋 萬 智 子

3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成22年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めました。

なお、重点施策の該当項目の最後に、各所属が掲げている平成22年度の事業名と結果を表記しました。

＜平成22年度飯能市教育行政の重点施策＞

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

目 標 「飯能を愛し、夢や希望をもち明るく元気に学び実践する人づくり」

合 言 葉 「共育」 ー自主・責任・連携ー

基本方針

- | |
|--|
| I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます |
| II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます |
| III 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組みます |
| IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます |
| V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます |

I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます

1 生きる力を育む教育指導の充実

(1) 確かな学力を育む教育の充実

- ① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進
- ・新学習指導要領移行措置の着実な実施を進めます。
 - ・K4KID宣言*に基づき、指導内容・指導方法の工夫改善を進めます。

※K4KID宣言とは、学校と家庭・地域が連携して取り組むことを目指した、飯能市独自の学力向上のための宣言。授業改善の視点K4（課題・活動・確認・価値）と家庭での取組KID（家庭学習・あいさつ・読書）を明示した。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	学校の学力に関する課題を明らかにし、学校と家庭、地域が連携して取り組み学力が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5校、中学校4校で、実施した総合訪問ではK4の視点に基づいた授業が実施された。 ・各学校のKIDへ取組が実施され、成果をまとめた。 ・全小中学校で全国学力学習状況調査を実施し、課題を明らかにした取組を実施した。 ・小学校3校、中学校2校を学力向上プロジェクト校として指定し学習改善を進めた。 	<p style="text-align: center;">< B 評価 ></p> 学校と家庭の連携、学力の向上の対策ができたので期待どおり。
事業名 H21からの継続目標 学力向上プロジェクト			

② 学習状況を把握し改善に向けた取組の推進

- ・「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学学習状況調査」「教育に関する3つの達成目標」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。

(2) 社会の変化に対応した教育内容の充実

① 伝統と文化を尊重する教育の推進

- ・郷土飯能の先人に学ぶ副読本の作成を行い、郷土を愛する心の育成を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	郷土飯能について誇りや愛着心を育てる取組の一つとして、先人の努力や生き方について学ぶ郷土学習資料を作成する。	6回の編集委員会を開催した。飯能市に關係する偉人や伝統文化の中から35項目を選定し、原案を作成した。	<p style="text-align: center;">< B 評価 ></p> 原案が作成できたので期待どおり。
事業名 新規目標 郷土学習資料の作成			

② 国際理解教育の推進

- ・豊かな国際性を身に付ける国際理解教育を進めます。

③ 環境教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。

④ 情報教育の推進

- ・情報機器を整備し、情報活用能力と情報モラルの育成を進めます。

⑤ キャリア教育の推進

- ・生き方指導としての進路指導・キャリア教育を進めます。

(3) 心の教育の充実

① 人権教育の推進

- ・基本的人権を尊重する教育を進めます。

② 道徳教育の推進

- ・「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」というあいさつと感謝の言葉がかわせるような子どもの育成を進めます。
- ・道徳教育推進教師を中心とした学校教育活動全体での道徳教育を進めます。

③ 教育相談活動の推進

- ・児童生徒一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談を進めます。

④ ボランティア・福祉教育の推進

- ・ボランティア・福祉教育にかかわる教育活動を進めます。

⑤ 特別支援教育の推進

- ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育を進めます。

(4) 体力の増進と安全教育の充実

① 健やかな体を育む教育の推進

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」運動を推進し、子どもの生活リズムの向上を進めます。
- ・体力・健康に関する指導についての研究を実践し、その成果を各学校に広め体力向上を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	体力向上を進めるため、新体力テストで課題となる種目を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力」に関する県平均以上の校数が7割（16校）であった。 ・体力向上に関する授業研究会が4校で実施され、他校へ成果を広めることができた。 ・埼玉県体力向上優良校として2校（南高麗小、飯能西中）が選ばれた。 	<p style="text-align: center;"><B評価></p> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。
H21からの継続目標 事業名 体力向上の推進			

② 安全教育の推進

- ・自他の生命を尊重する安全教育を進めます。

③ 食育の推進

- ・学校給食における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め食育を進めます。

(5) 生きる力の基礎を育成する幼稚園教育の充実

① 恵まれた自然環境を生かした教育の推進

- ・園を取り巻く自然を生かした体験活動を進めます。

2 幼稚園・学校経営の充実

(1) 特色ある学校づくりの充実

① 学習林活用教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	学習林活用教育導入3年目、全小中学校での実施とその成果のまとめをする。	・全校で学習林が選定され、各学校の学習林活用教育が推進された。 ・「学習林フォーラム」が実施され、小中各1校の代表校が発表し、各学校の教職員や外部指導者による交流が実施された。	<B評価> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。
事業名	H21からの継続目標 学習林活用教育推進事業		

② 小規模校の特色を生かした教育の推進

- ・小規模特認校制度を活用し、恵まれた環境と少人数での良さを生かした教育を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	小規模特認校制度実施1年目として制度を整備し、児童が特認校に入学する。	通学補助制度の改善を図ったが、小規模特認校への応募は0人であった。	<C評価> 小規模特認校の応募者がいなかったため、期待をやや下回る。
事業名	H21からの継続目標 小規模特認校制度		

③ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

- ・各学校の学校応援団を整備し、学校応援団を活用した連携を進めます。

④ 地域との交流を生かした幼稚園教育の推進

- ・地域の人材や施設を活用した教育活動を進めます。

(2) 校種間連携の充実

① 幼稚園、保育所、小学校の連携の推進

- ・幼保小の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした連携を進めます。

② 小学校、中学校の連携の推進

- ・小学校、中学校の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした連携を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	中学校区の課題を明確にし、小中が連携した取組を実践する。	・各中学校区で、平均3回以上の連携事業が実施された。 ・南高麗中学校区で教育課程に関する連携プランが作成された。 ・飯能第一中学校区で生徒指導に関する連携プランが作成された。	< B 評価 > 連携事業が予定どおり実施できたため、期待どおり。
事業名 H21からの継続目標 校区の課題を明確にした連携			

- ③ 中学校、高等学校の連携の推進
- ・ 上級学校訪問を充実します。

3 教職員の資質の向上

(1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

① 職責に応じた研修の推進

- ・ 教職員の指導力の向上を図るため、教育センター研修を計画的に進めます。
- ・ 教職員倫理の確立のため、事故防止委員会を中心とした取組を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	教職員の指導力を向上させ、教育活動改善の意欲がわく研修を実施する。	・ 全ての研修会を終了し、参加者の評価の平均が4.6（5段階）であった。 ・ 研究員（10人）の研究授業を行い、実践報告会も実施した。	< A 評価 > 評価も高く、研究授業も実施できたため、期待を上回る。
事業名 H21からの継続目標 教育センター研修の実施			

② 外部機関との連携による研修の推進

- ・ 市内の大学と連携し、専門的な指導力の向上を図る研修を進めます。

(2) 人事評価システムの充実

① 教職員評価システムの推進

- ・ 人事評価に関する研修を実施し、教職員評価システムの信頼性を高め学校の活性化を進めます。

II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます

1 学校施設の整備

(1) 学校施設の整備の推進

① 校舎等の耐震化の推進

- 耐震補強事業を推進します。(耐震補強工事、耐震補強設計業務、耐震診断未実施校の校舎及び屋内運動場の耐震診断の実施)

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	学校の校舎等の耐震化を進めるため、耐震診断未実施の建物の耐震診断を実施し、診断結果に基づく小・中学校耐震化計画の見直しをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に耐震診断調査の委託契約を締結し、年度内に調査が終了する。ただし、西中校舎の調査は繰越することになった。 ・県補助金は屋内運動場7棟の交付申請となった。 ・調査結果が出るのが年度末のため、耐震化計画の見直しはできなかった。 	<C評価>
新規目標			耐震化計画の見直しができなかったため、期待をやや下回る。
事業名 小学校耐震補強事業 中学校耐震補強事業			

② 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- 施設の老朽化に対し、計画的な改修を進めます。(大規模な改修工事、空調設備修繕、多目的トイレの設置)

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	双柳小学校校舎大規模改修・耐震補強工事を、事故なく計画通りに完了させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり校舎の大規模改修・耐震補強工事が終了し、1月末に引越しができた。 ・仮設校舎の解体撤去も予定どおり2月末に完了する。 	<B評価>
新規目標			予定どおり完了したため期待どおり。
事業名 双柳小学校大規模改修・耐震補強事業			

2 就学援助の推進

(1) 就学援助の推進

① 利用しやすい奨学金制度への見直し

- 奨学金の月賦返還を検討します。
- 入学準備金を検討します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	入学準備金の貸付を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学準備金の制度は設けず、特別給付で対応することにした。 ※特別給付とは、最大12箇月分をまとめて初回に貸与する給付方法 	<B評価>
新規目標			入学準備金の代わりに特別給付の制度を活用したので期待どおり。
事業名 奨学金貸付事業			

② 高額な通学費への支援

- ・保護者負担を軽減するための「飯能市高等学校等通学費補助金」を実施します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・新たにスタートした高額通学費の補助制度の申請等の手続きが順調に行えるようにする。 ・本補助制度の利用について検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度に対する意見をまとめた。 ・補助申請者数は123人、申請金額は2,313,566円となった。 ・制度に対する意見の中で制度の周知が不足していることがわかったため、2月の広報に記事を掲載し、早めの周知を行った。 	<p style="text-align: center;">< B 評価 ></p> <p>ホームページ、広報等で制度の周知をすることができたので期待どおり。</p>
事業名 新規目標 高等学校等通学補助事業			

III 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組みます

1 家庭教育・地域教育の推進

(1) 家庭教育・地域教育の推進

① 家庭の教育力の向上

- ・「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」という、あいさつ、感謝のできる子を育てるよう関連団体と協議し取り組みます。
- ・子どもの自立に向けて「早寝、早起き、朝ごはん」の実践に取り組みます。
- ・親が親として育つことを支援するため、親の学習講座を開催します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課	<p>「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」などの基本的あいさつができ、感謝の心を持つ子どもを育てる。</p>	<p>青少年育成飯能市民会議と協議の上チラシを作成し、非行防止キャンペーン等の行事で啓発を行った。また、全戸配布を行う市民会議会報及び広報はんのう2月15日号に同様の記事を掲載した。</p>	<p style="text-align: center;">< B 評価 ></p> <p>非行防止キャンペーン等の啓発を行い、予定どおり実施できたので期待どおり。</p>
事業名 新規目標 あいさつと感謝ができる子どもを育てる取り組みの実施			

② 地域での子どもの自立支援

- ・学校応援団を整備し、家庭・地域の教育力を高めます。
- ・地域に伝わるお囃子・獅子舞等の伝統芸能の体験学習を通して、地域社会との関わりを深めます。

IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます

1 生涯学習推進体制の整備

(1) 学習環境の整備

① 学習施設の整備

- ・学校の教室を活用し、市民向けの学校開放講座を開催します。
- ・「飯能市新図書館基本計画」に基づき、新図書館の設計を行います。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	平成23年3月中に基本設計を完了する。	飯能市新図書館設計検討委員会を2回開催し、基本設計(案)を市民に公開し、市民説明会を開催した。市民意見をまとめ、その後2回の設計検討委員会に諮り、教育委員会定例会、行政経営会議を経て市議会への報告をし基本設計を終了した。	< B 評価 > 基本設計を予定どおり終了したので期待どおり。
新規目標			
事業名 「飯能市新図書館基本計画」に基づき、新図書館建設に向けて設計を行なう			

(2) 生涯学習ネットワークの構築

① 教育機関との連携

- ・多様な学習ニーズに応えるとともに、専門教育機関としての教育力を地域に開放するため、駿河台大学と連携し、「市民の大学」及び「彩・ふるさと喜楽学」を開催します。

2 生涯学習機会の充実

(1) ライフステージに応じた学習機会の充実

① 多様な学習機会の充実

- ・市職員が市民主催の学習会などへ出向き、暮らしに役立つ情報や知識、市の取組などをわかりやすく説明する「学びとHANNO」出前講座を開催します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課	市の職員が市の取り組みや専門的知識・技術を提供することにより市民の生涯学習の一助とするとともに、講座を通して市の仕事を理解いただき、まちづくりへの積極的な参加を促す。	引き続き市民や庁内各課へ呼びかけを行い、活用と報告をお願いした結果、1月末現在の利用件数は21件となった。(内容: 歴史・文化財関係7件 防犯・防災関係12件 その他2件)	< A 評価 > 達成指数を超える利用件数があったので、期待を上回る。
H21からの継続目標			
事業名 学びとHANNO出前講座の実施			

② 公民館活動の充実

- ・市民の健康づくりを推進するため、その目的に沿った学級・講座や歩くことの事業を実施します。
- ・防災・防犯・健康づくりに関する業務が効果的に推進できるよう、関係課との連携・調整を進めます。
- ・公民館を地域コミュニティの拠点施設としていくための方策を検討します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館調整担当 新規目標 事業名 公民館における 防災・防犯対策	災害時において、現地災害対策本部や避難所として公民館及び学校体育館が速やかに機能するようになる。	館長会議・担当者会議で研修及び自主防災会リーダー研修会へ参加するとともに、災害時のチェックシートによる職員対応の確認(四半期ごと)は、100%実施できた。 また、各地域で自主防災会等と協力しながら防災訓練を行った。	< B 評価 > 職員対応の確認は100%実施できたので、期待どおり。
公民館調整担当 新規目標 事業名 公民館における 健康づくり推進 事業	市民が健康づくり事業に、参加しやすくなるような方策を講じる。	健康づくり事業のウォーキング等に対する市民の取り組みが、各地域を越えて参加するなど推進され参加者の増員ができた。 参加者人数6,926人(前年度4,901人)<3月末現在>	< A 評価 > ウォーキング参加者が大幅増のため、期待を上回る。
公民館調整担当 新規目標 事業名 公民館の活用と 今後のあり方に関する検討	公民館を生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設とする。	事務局内の「公民館のあり方」検討委員会を開催するとともに、市長部局との調整も行い、「今後の公民館のあり方について(報告案)」を作成した。	< B 評価 > 検討委員会の開催及び報告案を作成したので期待どおり。
公民館 H21からの継続目標 事業名 学級講座の充実	生涯学習の拠点施設として、各館で特色や人気のある学級講座を開催する。	各公民館で市民ニーズを考慮しながら、工夫を凝らした特色のある事業を開催した。人気のあるものは定員までわずかの時間で達するものさえあり、人気を呼んでいる。	< A 評価 > 特色のある講座、人気のある講座を展開でき、関係課及び団体との連携が図れたので期待を上回る。
公民館 H21からの継続目標 事業名 健康づくり関連 講座の充実	市民の健康づくりを推進するため、各館で工夫したものや全館で統一した教室・講座を開催する。	各地区でウォーキングマップを1コース追加し、マップを中心に歩く事業が開催された。スゴ足イベントも各地域で開催され、うなぎ上りに参加者が増えている。公民館共通テーマである「地域で進める健康講座」も各地区で開催し、好評を得た。	< A 評価 > スゴ足イベントも好評を得るなど、健康講座も含めて、参加者数が期待を上回る。
公民館 新規目標 事業名 防災・防犯に関する 対策の整備・充実	市民の安全を守り、安心した生活を送れるようにするため、各館で工夫したものや全館で統一した教室・講座を開催する。また、災害時等において避難所として機能するように体制づくりを進める。	・各地域で自主防災会等と協力しながら防災訓練を行った。 ・振り込め詐欺の被害を出さないために、生活安全課と連携し、防犯教室を開催した。 ・危機管理室による災害時要援護支援者リスト作成の準備も行った。	< B 評価 > 避難所運営マニュアルの作成、防犯に関する教室を開催できたので期待どおり。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
事業名	公民館	老朽化している公民館を安全で高齢者でも使いやすい施設に改修する。	東吾野公民館の空調設備の改修工事や、昭和56年以前設計の4館の耐震診断は23年度は加治東、24年度は第二区、25年度は中央・加治と予定された。耐震診断によって翌年度以降の改修工事の予定も決まってくる。	< B 評価 >
	H21からの継続目標			空調改修工事、耐震診断の計画が策定できたので期待どおり。
事業名	公民館	公民館を地域コミュニティの拠点施設として進めていけるかの方策や今後の方向性について検討する。	公民館のあり方検討部会を設置し、2回会議を開催した。館長会だけでなく、担当者会議でも話し合いを持ち、今後について意見を出し合い、公民館の社会教育の必要性、地域性について話し合った。	< B 評価 >
	新規目標			公民館のあり方検討部会の設置及び会議の開催など、期待どおり。
事業名	地域の拠点施設としての整備・充実			

③ 図書館活動の充実

- ・ 図書資料の収集・整備とともに、視聴覚資料収集のための検討をします。
- ・ 休館日である月曜日を月1回開館し、利用者サービスの向上を図ります。
- ・ 「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき計画の活用と運営を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
事業名	図書館	・ 新図書館開館に向けて資料の見直しをし、山手文書庫内の資料の整理をする。 ・ 視聴覚資料の収集について検討する。	・ 山手文書庫内の資料整理を完了した。 ・ 視聴覚資料の予算を実施計画には盛り込んだが、平成23年度予算分には反映されなかった。	< B 評価 >
	新規目標			予算に反映できなかったが資料整理は完了したので期待どおり。
事業名	図書館	月曜日を月1回開館し、市立図書館、こども図書館の年間トータルでの利用者数、貸出冊数を昨年度より増とする。	月曜日の定例休館日を第3月曜日には開館することの周知を行い利用者サービスに努めた。結果として目標値を上回る利用者、冊数があり増となった。 総利用者 73,340人 総貸出冊数 320,495冊	< A 評価 >
	新規目標			目標値を上回る利用者、冊数のため、期待を上回る。
事業名	図書館	各課所、団体、学校等と連携し、推進のための各事業ごとの取組計画を作る。	取組計画を作成し周知をした。	< B 評価 >
	H21からの継続目標			予定どおり計画を策定及び周知できたので、期待どおり。
事業名	「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき計画の活用と推進を図る			

④ 世代別学習機会の充実

- ・ 子どもの自主性・協調性を育むとともに、地域交流を深めるため、公民館及び子ども家庭課と連携し、「通学合宿」を開催します。
- ・ 「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、すべての子どもがあらゆる機会と場所において、自主的な読書活動が行われるよう環境の整備を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	生涯学習課	子どもが家庭から離れ、集団生活を送りながら通学する体験を通して、自主性・協調性・忍耐力・社会性を培い、心身ともにたくましい人間性豊かな子どもたちの育成を図る。	校長会議及び公民館担当者会議において説明を行い、来年度実施地区の選定を行った。1月末現在、精明公民館もしくは双柳学習センターに会場を絞り、いずれかで行うべく両館に打診中である。	<B評価>
事業名	H21からの継続目標 通学合宿の実施			達成目標を概ね達成したので期待どおり。
	図書館	「子ども読書活動推進計画」の活用と連動して年代に応じた子どもの読書活動の場の確保と環境整備をしていく。今年度は利用の少ないヤングの利用者増を図る。	ジュニア図書を選書し、ダブリ本等を除き200冊の本を新規登録をした。利用冊数については若干の増が見られた。	<B評価>
事業名	新規目標 すべての子どもがあらゆる機会と場所において自主的な読書活動が行なわれるよう環境の整備を進める			利用者数に若干の増があったので、期待どおり。

(2) 現代的課題に関する学習機会の充実

① 人権に関する学習機会の充実

- ・ 様々な人権問題に関する正しい知識を広めるとともに、各地域で意識啓発を図ることのできる指導者を育成するため、人権教育指導者研修会を開催します。22年度は、吾野・東吾野公民館で地区住民を対象に開催します。

3 地域学習の充実

(1) 市民文化活動の推進

① 市民文化活動の奨励

- ・ 飯能市文化協会を支援し、人材の発掘や文化活動団体の育成に努めます。
- ・ 多くの市民に文芸に親しんでもらうため、「文藝飯能」を発刊します。
- ・ 様々な文化活動の成果を発表する場として、「飯能市文化祭」及び「飯能市美術展」を開催します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	生涯学習課	一般市民の文芸の発表の場として、幅広く親しんでもらえる文芸誌を発行する。	1月末現在、概ね年度当初のスケジュールどおりに選考・編集作業が進行している。全体のページ数を前号よりも12ページ増やすことにより、より多くの作品を掲載できることとなった。(2月末納品)	<B評価>
事業名	H21からの継続目標 文藝飯能の刊行			ページ数を増加し、納品も完了したことから期待どおり。

(2) 自然・歴史・文化遺産の継承と活用

① 地域資料の調査、保存と活用

・ 植物調査の実施

飯能市内に生育する植物の生育状況を調査し、植物の種、群落の保存を図ります。

・文化遺産の普及活用

文化財印刷物を利用し、文化財めぐりなどの事業を実施することによって文化遺産の普及活用を図ります。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課 H21からの継続目標 植物調査の実施	植物調査を実施し、市内の植物生育状況を把握する。	植物の種の調査、群落の調査を実施した。龍泉寺裏のウラジロガシ林（名栗地区）などの群落調査を実施し、特徴的な群落を把握することができた。	< B 評価 > 特徴的な群落を把握するなど期待どおり。
生涯学習課 H21からの継続目標 文化遺産の普及活用	文化財情報誌、文化財マップを発行し、文化財の普及活用を図る。	3月15日に吾野、原市場方面の文化財めぐりを実施し、26名が参加した。文化財印刷物の利用を通して市内の文化財に親しむきっかけづくりができた。	< B 評価 > 予定どおり文化財めぐりを開催したため期待どおり。
生涯学習課 新規目標 埋蔵文化財の整理、展示活用事業	・埋蔵文化財出土品整理活用事業及び出土遺物収蔵庫整理事業を実施する。 ・収蔵庫の移転を行い、収蔵台帳を整備する。	出土品整理活用事業によって未整理の遺跡の整理が順調に進んだ。収蔵庫の移転は順調に行われた。収蔵庫の移転先である学校への展示作業を実施し、文化財の普及啓発を図った。	< B 評価 > 予定どおり遺跡の整理が進んだので期待どおり。
生涯学習課 新規目標 『発掘調査でわかった飯能の歴史展』共催事業	平成21年度に刊行した普及書の成果を最大限に生かし、郷土館との共催により特別展を開催する。	郷土館と打ち合わせを十分に行い役割を分担し、特別展に取り組んだ。普及書の成果を十分に活用することができ、特別展は成功裡に終了した。職員による講座も行われ、特別展の理解を深めた。	< B 評価 > 特別展を開催することができたので期待どおり。

② 郷土館活動の充実

- ・市民との協働による郷土館活動をさらに充実させるために、新たに市民学芸員を募集し養成します。
- ・地域の情報センターとしての役割を高めるために、名栗村史編さん過程で収集した写真資料を整理し目録を刊行します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
郷土館 新規目標 市民学芸員養成事業	・博学連携事業参加型の市民学芸員を増やすことによって、小学3年生見学対応をより充実させる。 ・収蔵史料の翻刻や史料集の刊行などにより、地域の新しい歴史像を市民に提供する。	・博学連携参加型 12名受講 全13回修了 11名市民学芸員認定 ・古文書整理型 17名受講 全12回修了 15名市民学芸員認定	< A 評価 > 受講者の8割以上を市民学芸員として認定できたので期待を上回る。
郷土館 新規目標 収蔵資料目録5号刊行事業	これまで整理を進めてきた名栗地域の写真資料について収蔵資料目録を刊行する。これにより資料データがさらに蓄積され、収蔵資料の検索を容易にし、資料の活用を推進を図る。	1月…原稿完成 2月…原稿入稿 3月…印刷完了刊行	< B 評価 > 収蔵資料目録5号が予定どおり刊行したので期待どおり。

4 学習成果の還元

(1) 人材の養成・団体への支援

① 指導者登録制度の充実と活用

まなびあんないと

- ・ 様々な生涯学習ニーズに対応するため、生涯学習人材バンク「学び案内人」を充実します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	生涯学習課	市民の様々な生涯学習ニーズに対応するため、庁内各課に蓄積されている講師や指導者情報を収集し、生涯学習人材バンクとして整理する。	公民館担当者及びIT担当と協議し、庁内グループウェアのキャビネットに人材バンクを掲載して各公民館と生涯学習課のみが活用することとした。最終的詳細は、3月の公民館担当者会議で確定する。	<B評価>
事業名	新規目標 生涯学習人材バンクの充実			内容の更新が完了し、概ね目的を達成したので期待どおり。

② 人材の養成と活用

- ・ 地域の青少年健全育成活動を活性化するため、飯能市子ども会育成会連絡協議会と連携し、子供会育成会役員・子ども会リーダー研修会を開催します。

(2) 学習成果を生かすしくみの整備

① 発表の場の提供・充実

- ・ 市民の主体的な学習活動の発表や交流の場として、「生涯学習フェスティバル」を開催します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	生涯学習課	生涯学習の様々な分野で活動する団体等に発表の場を提供し、広く市民に知っていただく。さらにその出会いの中から新たな生涯学習のきっかけ作りを創出する。	従来の展示・体験やステージ発表のほか、屋外に「すいーとん」や「カレー」などの物販・飲食コーナー、図書館分室の臨時開館も協力いただき、にぎやかに開催することとなった。	<B評価>
事業名	H21からの継続目標 生涯学習フェスティバルの実施			予定どおり開催したことから期待どおり。

V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます

1 健康体力づくり事業の充実

(1) 公民館を拠点とした活動の推進

① 健康体力づくり事業の展開

- 子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に対応した健康づくり事業を展開します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	体育課	子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に対応した、健康づくり事業を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館との共催により予定どおり開催し、定員の90%以上の参加者を得られた。 ・バランススティック講座を東吾野公民館で開催し好評を得ることができた。平成23年度は巡回教室として開催する。 	< B 評価 >
事業名	H21からの継続目標 健康体力づくり事業			目標の参加者を得ることができたので期待どおり。

② ウォーキングのまちづくり

- ウォーキングによる健康づくりを進めるため、公民館や地域団体と連携を図り、市民健康ウォーキングを開催します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	体育課	ウォーキングによる健康づくりを進めるため、公民館や地域団体と連携を図り、市民健康ウォーキングを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・メイン大会として加治地区、両吾野地区で開催し好評であった。 ・各公民館での市民健康ウォーキング大会、健康づくり推進室でのスゴ足イベントを開催した。 	< B 評価 >
事業名	H21からの継続目標 ウォーキングのまちづくり			予定どおり開催できたので期待どおり。

(2) スポーツイベントの充実

① 飯能新緑ツーデーマーチ

- 全国から訪れる多くの参加者に満足していただけるよう、運営方法の改善、コース整備などを実施し、安全で快適な大会を目指します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	体育課	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、運営方法の改善、コース整備などを実施し、安全で快適な大会を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回大会に向け、統括部会を中心に準備を始めた。 ・第9回大会より吾野コースを開設することが決定し、コース部会を中心にコース設定を行っている。 ・第8回大会の反省を活かしながら、スムーズな大会運営ができるよう第9回大会の準備を進めていく。 	< A 評価 >
事業名	H21からの継続目標 飯能新緑ツーデーマーチ			予定どおり大会を開催し、吾野コースの準備もできたことから、期待を上回る。

② 奥むさし駅伝競走大会

- ・参加チームが安心して走れる環境を整えるとともに、市民に感動と活力を与える大会となるよう更なる充実を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	体育課	参加チームが安心して走れる環境を整えるとともに、市民に感動と活力を与えるよう更に充実を図る。	214チームの参加と、関係各位の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催できた。 出場チームの上限220チームに対して256チームの応募があった。	< A 評価 >
事業名	H21からの継続目標 奥むさし駅伝競走大会			上限に近い参加チーム数及び事故「0」であったため、期待を上回る。

(3) 生涯スポーツ推進体制の整備

① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- ・体育協会をはじめとする各種スポーツ・レクリエーション団体等の活動を支援します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	体育課	体育協会をはじめとする、各種スポーツ・レクリエーション団体等の活動を支援する。	・体育協会で補助金交付団体に対し報告様式を提示した。 ・補助金の支援基準については、各団体の状況を確認しながら再検証していく。	< C 評価 >
事業名	H21からの継続目標 スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援			補助金の支援基準の再検証を続ける必要があることから、期待をやや下回る。

② スポーツ教室等の開催

- ・スポーツ・レクリエーション活動を促進するため、スポーツ教室等を実施します。
- ・元オリンピック選手が集う「はつらつママさんバレーボール大会」を開催し、スポーツへの参加を促します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
	体育課	スポーツ・レクリエーション活動を促進するため、スポーツ教室を実施する。	予定していた教室を開催することができた。 前年度を上回る参加者であった。	< B 評価 >
事業名	H21からの継続目標 スポーツ教室等の開催			予定どおり開催できたので期待どおり。
	体育課	元オリンピック選手が集う『はつらつママさんバレーボール』を開催し、スポーツへの参加を促す。	・飯能市バレーボール連盟、駿河台大学を始め、関係団体と連携を図り盛大に開催することができた。また、この事業の開催を通し、駿河台大学との連絡・連携体制が深くなったと感じている。	< A 評価 >
事業名	新規目標 はつらつママさんバレーボール			大会も盛大に開催され、大学との連携も図れたので、期待を上回る。

2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

(1) スポーツ施設の計画的な修繕の実施

① 施設修繕計画の策定

- ・市民球場、阿須ソフトボール場などの改修工事等を行い、利便性・安全性を向上させます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
事業名	体育課	市民球場、阿須ソフトボール場等の改修工事等を行い、利便性・安全性を向上させる。	・ソフトボール場改修工事も12月末に完成し、予定工期内に全ての工事が終了した。 ・都市計画課、体育協会と連携し、修繕箇所・方法を検討した。	< B 評価 >
	H21からの継続目標			予定工期内にすべてが完成したので期待どおり。
	施設修繕計画の策定			

(2) スポーツ施設の効果的な管理運営

① 利用者サービスの向上

- ・指定管理者と連携し、効果的な管理運営に努めるとともに、施設の利便性の向上のため利用時間の延長などを進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
事業名	体育課	指定管理者と連携し、効果的な管理運営に努めると共に、施設の利便性の向上のため、利用時間の延長などを進める。	・体育協会のホームページをリニューアルし、リアルタイムな情報提供が可能になった。 ・月曜開館をする上でのメリット・デメリットの検証を依頼した。	< B 評価 >
	H21からの継続目標			ホームページの更新等も予定どおり完成したので期待どおり。
	利用者サービスの向上			

4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

(1) 総括

平成22年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（B評価）」に事業を実施できた割合は、全45事業中32事業あり、全体の71%を占めました。一方、「期待をやや下回る（C評価）」が3事業ありました。全体としては、良好な事務執行ができたと評価できますが、C評価の事業については、目標を達成できなかった原因等を明らかにし、改善等を図る必要があります。

<集計表>

所管課	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	0	0	3	1	0	4
学校教育課・ 教育センター	0	1	5	1	0	7
生涯学習課	0	1	9	0	0	10
体育課	0	3	5	1	0	9
図書館	0	1	4	0	0	5
公民館調整担当	0	1	2	0	0	3
公民館	0	2	3	0	0	5
郷土館	0	1	1	0	0	2
事業数合計	0	10	32	3	0	45
H21との比較	0	2	△16	△4	0	△18
評価の割合	0%	22.2%	71.1%	6.7%	0%	100%
H21との比較	0%	9.5%	△5.1%	△4.4%	0%	—

(参考) 平成21年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	0	8	48	7	0	63
評価の割合	0%	12.7%	76.2%	11.1%	0%	100%

(参考) 評価の基準

評価点	達成割合	説明
S	120%以上	期待を顕著に上回る
A	105～120%未満	期待を上回る
B	90～105%未満	期待どおり（標準）
C	75～90%未満	期待をやや下回る
D	75%未満	期待を下回る

(2) 各事業の評価状況

各所属の評価結果については、24ページ以降に掲載しています。

5 教育委員会の活動状況と評価

平成22年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

【主な活動状況】

	項 目	回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	14回	定例会及び臨時会の開催 定例会(12回) 臨時会(2回)
	教育委員会会議の傍聴者の状況	0人	
	議事録の公開、広報・広聴活動の状況	—	議事録(概要)、会議日程をホームページに掲載
	教育委員の研修会への参加状況	3回	「入間地区教育委員会連合会視察研修」ほか
	学校・所管施設訪問	13ヶ所	小学校3校、中学校3校、公民館7館

	項 目	回数等	活動内容等
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	4議案	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会要綱の制定及び一部改正、又は改廃すること	7議案	「飯能市新図書館設計検討委員会設置要綱について」ほか
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	15議案	「飯能市立名栗幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則(案)について」ほか
	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	10議案	「平成22年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0議案	
	人事に関すること	7議案	「平成23年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	19議案	「奨学生の決定について」ほか
	合 計	62議案	

【評価】

開かれた教育行政を推進するため、平成21年度から市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供に努め、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

一方、今後も平成22年度から平成27年度までの計画である「飯能市教育振興基本計画」に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局とさらに連携を強化して計画の実現に取り組んでいく必要があります。

なお、同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、平成22年度現在の進捗状況は次のとおりです。

教育総務課

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成度	目標値
					平成27年度
校舎の耐震化率	70.8 %	72.9 %	80.4 %	80.4%	100 %
屋内運動場の耐震化率	63.6 %	63.6 %	68.2 %	68.2%	100 %

学校教育課

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成度	目標値
					平成27年度
基礎的・基本的な学習内容の達成率 (教育に関する3つの達成目標)	92 % (小学6年生)	91.8 % (小学6年生)	94.6 % (小学6年生)	99.6%	95 % (小学6年生)
	86 % (中学3年生)	85.7 % (中学3年生)	90.8 % (中学3年生)	95.6%	95 % (中学3年生)
新体力テストで全国平均を上回る項目の割合	61.5 % (小学校)	65.6 % (小学校)	全国平均値が未発表のため数値不明		75 % (小学校)
	46.3 % (中学校)	64.8 % (中学校)	全国平均値が未発表のため数値不明		75 % (中学校)

生涯学習課

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成度	目標値
					平成27年度
公開講座延べ参加者数	6,671 人	7,291 人	7,149 人	89.4%	8,000 人
出前講座開催件数	85件(累計)	90件(累計)	111件(累計)	65.3%	170件(累計)

体育課

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成度	目標値
					平成27年度
スポーツ施設利用者数	289,869 人	293,185 人	287,173 人	95.7%	300,000 人
学校体育施設開放事業における利用者数	152,711 人	153,813 人	142,772 人	89.2%	160,000 人
ツーデーマーチ参加者数	13,861 人	12,885 人	12,007 人	66.7%	18,000 人

公 民 館

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成度	目 標 値
					平成27年度
公民館利用者数	325,007 人	334,092 人	311,306 人	91.8%	339,000 人
公民館学習グループ数	586 団体	591 団体	559 団体	82.2%	680 団体
健康づくり推進事業数	59 事業	84 事業	95 事業	128.4%	74 事業

図 書 館

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成度	目 標 値
					平成27年度
蔵書数	248,753 冊	252,157 冊	256,299 冊	85.4%	300,000 冊
年間貸出数	315,622 冊	318,408 冊	320,495 冊	72.5%	442,000 冊
年間利用人数	70,567 人	72,725 人	73,340 人	74.2%	98,800 人
年間児童(0～18歳) 利用人数	24,651 人	23,705 人	23,413 人	78.0%	30,000 人

郷 土 館

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成度	目 標 値
					平成27年度
ホームページアクセス 月平均件数	444.3 件	607.8 件	618 件	134.3%	460 件
レファレンス※件数	177 件	173 件	184 件	92.0%	200 件
資料利用件数	122 件	134 件	129 件	99.2%	130 件
資料整理件数	225 件	414 件	168 件	73.0%	230 件
出張授業受講延べ人数	1,053 人	713 人	645 人	58.6%	1,100 人
入館者数	27,151 人	27,426 人	28,074 人	100.3%	28,000 人

※レファレンス…利用者の求めに応じ、その調査・相談等に対し資料等を使って援助すること。

6 評価懇話会委員の意見等

点検・評価の客観性を確保する観点から、飯能市教育委員会評価懇話会を開催し、各委員から次のようなご意見をいただきました。

<点検・評価全般について>

- ・昨年度に比べると継続事業が多いので、今後は新規事業を増やすように心掛けてほしい。
- ・常に改善改革を意識し、継続にする場合でも、昨年度より内容が向上した目標にしてほしい。
- ・事業内容の工程を表した日程表を作成し管理してほしい。
- ・市の財政状況が厳しい中で、貴重な事業をしているものもある。これらの事業をもっと市民にアピールすべきではないか。

<評価結果について>

- ・標準となるB評価の事業が70%以上あり、おおむね良好に事業が実施できていると思う。
- ・事業の内容及び達成状況を考えると、B評価となっている事業の中にも、A評価としても良いのではと思われる事業もある。
- ・C評価になった事業については、何が原因なのか課題等を整理し、翌年度以降の事業展開につながるようにしてもらいたい。

7 おわりに

今年度で4年目となる教育委員会の点検・評価については、おおむね良好な事業執行であるという評価懇話会でのご意見をいただきました。これは「飯能市教育振興基本計画」に基づき、中・長期的な視点から、本市の教育振興のための施策を着実に実現できるよう目標を設定し、事業展開を行ってきた成果であると言えます。

一方、事業評価については、数値目標や達成度を明確にするなどして、より分かりやすい評価を行うとともに、課題等を明確にし、翌年度以降の事業へ反映させることが必要であるとのこと指摘を受けました。

今後、教育委員会では、このようなご意見を踏まえ、点検・評価を通じ、課題等の改善及び事業展開を図るとともに、引き続きより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

平成22年度 教育行政の重点施策の評価結果

1. 教育総務課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な 学習環境づくり に取り組みます 1 学校施設の整備	学校の校舎等の耐震化を進めるため、耐震診断未実施の建物の耐震診断を実施し、診断結果に基づく小・中学校耐震化計画の見直しをする。	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断の対象建物が多いため、建築課との発注手順の打合せを十分に進行。 国から校舎等の耐震化の推進が求められており、委託業者への耐震診断の集中が予想される。 診断依頼棟数が多いため、グループ分けして発注する。 校舎の診断は夏休み中に行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断未実施の全ての建物の耐震診断を実施する。(小学校/校舎1棟、屋内運動場4棟、中学校/校舎9棟、屋内運動場3棟) 耐震診断結果を踏まえた、平成24年度から27年度までの校舎等の耐震化計画の見直しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月に耐震診断調査の委託契約を締結し、年度内に調査が終了する。ただし、西中学校舎の調査は繰越しすることになった。 県補助金は屋内運動場7棟の交付申請となった。 調査結果が出るのが年度末のため、耐震化計画の見直しはできなかった。 	<p><C評価></p> <p>耐震化計画の見直しができなかったため、期待をやや下回る。</p> <p><今後の課題等></p> <ul style="list-style-type: none"> 調査結果に基づき、耐震化計画の見直しを行う。 市の財政状況が厳しい中で、計画どおり実施できるかが課題である。
	新規目標 事業名 小学校耐震補強事業 中学校耐震補強事業					<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業や行事に支障をきたさないようにする。工事エリアと学校エリアを明確にし、給食の配送を含め、安全対策を徹底する。 仮設校舎、工事については建築課に監理を依頼するとともに、建築課や学校、業者と定期的に打合せを行う。 7月末までに仮設校舎へ引越しを終える。 夏休み中を用途に、給食室の改修とアスベスト除去工事を終了させる。
2	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な 学習環境づくり に取り組みます 1 学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 入学準備金の貸付を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金の特別交付の扱いを含め、担当内で打ち合わせを行い、関係課と調整を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 入学準備金の貸付についての実施方法を課内でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 入学準備金の制度は設けず、特別給付で対応することにした。 <p>※特別給付とは、最大12箇月分をまとめて初回に貸与する給付方法</p>	
	新規目標 事業名 奨学金貸付事業					<ul style="list-style-type: none"> 新たにスタートした高額通学費の補助制度の申請等の手続きが順調に行えるようにする。 本補助制度の利用について検証を行う。
3	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な 学習環境づくり に取り組みます 2 就学援助の推進	<ul style="list-style-type: none"> 新たにスタートした高額通学費の補助制度の申請等の手続きが順調に行えるようにする。 本補助制度の利用について検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 課職員、関係公民館等に周知を図り、教育総務課のほか、公民館での申請受付を実施する。 新たにスタートした補助制度に対する問い合わせや意見等を集約して、周知が不十分な事柄や修正事項を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高額通学費の補助制度を検証した結果をまとめ、制度のQ&Aを作成し、ホームページへの掲載とともに、公民館等に配付する。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度に対する意見をまとめた。 補助申請者数は123人、申請金額は2,313,566円となった。 制度に対する意見の中で制度の周知が不足していることがわかったため、2月の広報に記事を掲載し、早めの周知を行った。 	
	新規目標 事業名 高等学校等通学補助事業					<ul style="list-style-type: none"> 課職員、関係公民館等に周知を図り、教育総務課のほか、公民館での申請受付を実施する。 新たにスタートした補助制度に対する問い合わせや意見等を集約して、周知が不十分な事柄や修正事項を把握する。
4	教育総務課 基本方針 II 安心・安全な 学習環境づくり に取り組みます 2 就学援助の推進	<ul style="list-style-type: none"> 新たにスタートした高額通学費の補助制度の申請等の手続きが順調に行えるようにする。 本補助制度の利用について検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 課職員、関係公民館等に周知を図り、教育総務課のほか、公民館での申請受付を実施する。 新たにスタートした補助制度に対する問い合わせや意見等を集約して、周知が不十分な事柄や修正事項を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高額通学費の補助制度を検証した結果をまとめ、制度のQ&Aを作成し、ホームページへの掲載とともに、公民館等に配付する。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度に対する意見をまとめた。 補助申請者数は123人、申請金額は2,313,566円となった。 制度に対する意見の中で制度の周知が不足していることがわかったため、2月の広報に記事を掲載し、早めの周知を行った。 	
	新規目標 事業名 高等学校等通学補助事業					<ul style="list-style-type: none"> 課職員、関係公民館等に周知を図り、教育総務課のほか、公民館での申請受付を実施する。 新たにスタートした補助制度に対する問い合わせや意見等を集約して、周知が不十分な事柄や修正事項を把握する。

2. 学校教育課・教育センター

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 1 生きる力を育む 教育指導の充実	学校の学力に関す る課題を明らかに し、学校と家庭、地 域が連携して取り組 み学力が向上する。	①K4K1D宣言に基づ いた取組を実施する。 ・授業改善の視点K4 (課題・活動・確認・価 値)を示し、学校訪問に より指導・助言する。 ・家庭での取組K1D (家庭学習・あいさつ・ 読書)を示し、学校を通 じた取組を実施する。 ②「全国学力学習状況 調査」「埼玉県小・中学 学習状況調査」「教育に 関する3つの達成目標」 を実施し結果を分析し、学習 改善を進める。	①K4の視点に基づ いた授業が、学校訪 問で実施される。 ②学校のK1Dの取 組をまとめる。 ③抽出方式と希望利 用方式により全校で 全国学力学習状況調 査を実施する。 ④各種調査により学 力に関する課題を明 確にして取り組み、 前年度と比べ学力が 向上する。	・小学校5校、中学校 4校で、実施した総合 訪問ではK4の視点に 基づいた授業が実施さ れた。 ・各学校のK1Dへ取 組が実施され、成果を まとめた。 ・全小中学校で全国学 力学習状況調査を 実施し、課題を明らか にした取組を実施した。 ・小学校3校、中学校 2校を学力向上プロ ジェクト校として指定 し学習改善を進めた。	<p><B評価></p> <p>学校と家庭の連 携、学力の向上の対 策ができたので期待 どおり。</p> <p><今後の課題等> ・K4K1D宣言に 基づいた各学校の効 果のある取組を他校 にひろめて充実を図 ること。 ・各種調査を活用し た学力向上への取組 を継続していくこ と。</p>
	事業名 学力向上プロジェク ト					H21からの継続目標
2	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 1 生きる力を育む 教育指導の充実	郷土飯能について 誇りや愛着心を育て る取組の一つとし て、先人の努力や生 き方について学ぶ郷 土学習資料を作成す る。	郷土学習資料編集委員 会を設置し、委員を委 嘱し、副読本作成を行う。	平成23年度に印 刷製本し、平成24 年度に配布できるよ うに、原案を作成す る。	6回の編集委員会を 開催した。飯能市に 関係する偉人や伝統文 化の中から35項目を 選定し、原案を作成し た。	<p><B評価></p> <p>原案が作成でき たので期待どおり。</p> <p><今後の課題等> 授業で活用できるよ うに原案を精選し、 平成24年度に配布 できるように編集す ること。</p>
	事業名 郷土学習資料の作成					新規目標
3	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 1 生きる力を育む 教育指導の充実	体力向上を進める ため、新体力テスト で課題となる種目を 強化する。	・新体力テストの結果を 分析し、教職員と保護 者向けの資料を作成し 重点を決めた取組を行 う。 ・授業研究会を実施し 、成果を全校に広めて 体力の向上を進める。	教育に関する3つ の達成目標「体力」 が県平均以上の校数 の6割以上とする。	・「体力」に関する県 平均以上の校数が7割 (16校)であった。 ・体力向上に関する授 業研究会が4校で実施 され、他校へ成果を広 めることができた。 ・埼玉県体力向上優良 校として2校(南高麗 小、飯能西中)が選ば れた。	<p><B評価></p> <p>達成目標を概ね達 成したので期待ど おり。</p> <p><今後の課題等> ・平均以下である体 力向上の項目につ いて、重点的に取り 組むこと。 ・学校間の差を少な くするため、課題校 への支援を行うこ と。</p>
	事業名 体力向上の推進					H21からの継続目標
4	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 2 幼稚園・学校経営 の充実	学習林活用教育導 入3年目、全小中 学校での実施とその 成果のまとめをする。	・各学校の学習林を選 定し、中学校区ごと の拠点校に共通備品 を整備する。 ・各学校の特色に応 じた、学習林活用の 全体計画と年間計画 の作成を指導・支 援する。	各学校の活動を発 表し交流する学習林 活用教育推進事業 フォーラムを実施す る。	・全校で学習林が選 定され、各学校の学 習林活用教育が推 進された。 ・「学習林フォー ラム」が実施され、 小中各1校の代表校 が発表し、各学校の 教職員や外部指導 者による交流が実 施された。	<p><B評価></p> <p>達成目標を概ね達 成したので期待ど おり。</p> <p><今後の課題等> 各学校ごとの成果 を市内にひろめて いくこと。</p>
	事業名 学習林活用教育推 進事業					H21からの継続目標
5	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 2 幼稚園・学校経営 の充実	小規模特認校制度 実施1年目として制 度を整備し、児童が 特認校に入学する。	・小規模特認校制度の 広報活動を工夫し、 多数の市民に制度を 知らせる。 ・小規模特認校制度 実施1年目として、 制度の円滑な実施 をする。	小規模特認校制度 を利用し児童が特 認校に入学する。	通学補助制度の改善 を図ったが、小規模 特認校への応募は0 人であった。	<p><C評価></p> <p>小規模特認校の 応募者がいなかった ため、期待をやや 下回る。</p> <p><今後の課題等> 特認校制度の周知 方法を工夫し、制 度利用者の確保を すること。</p>
	事業名 小規模特認校制度					H21からの継続目標

6	学校教育課・教育センター	1 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 2 幼稚園・学校経営の充実 H21からの継続目標 校区の課題を明確にした連携	中学校区の課題を明確にし、小中が連携した取組を実践する。	中学校区ごとに課題となることを明確にし、その解決のための方策を検討し、具体的な取組を実践する。	①各中学校区ごとの連携した事業が3回以上開催される。 ②小学校一校の中学校区の連携モデルプランを作成する。 ③小学校複数校の中学校区の連携モデルプランを作成する。	・各中学校区で、平均3回以上の連携事業が実施された。 ・南高麗中学校区で教育課程に関する連携プランが作成された。 ・飯能第一中学校区で生徒指導に関する連携プランが作成された。	< B 評価 > 連携事業が予定どおり実施できたため、期待どおり。 <今後の課題等> 各中学校区での課題を明確にした連携をさらに進めること。
	基本方針 事業名		学校教育課・教育センター 1 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 3 教職員の資質の向上 H21からの継続目標 教育センター研修の実施	教職員の指導力を向上させ、教育活動改善の意欲がわく研修を実施する。	・教職員の職責に応じた研修会を実施する。 ・研究員を指定し、個別の指導を実施する。 ・研修内容を見直し、駿河台大学と連携した研修会を実施する。	研修会参加者の評価において、相当する評価項目の評価が4.5以上である。(5段階評価)	・全ての研修会を終了し、参加者の評価の平均が4.6(5段階)であった。 ・研究員(10人)の研究授業を行い、実践報告会も実施した。

3. 生涯学習課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	生涯学習課	「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」などの基本的あいさつができ、感謝の心を持つ子どもを育てる。	青少年育成飯能市民会議と取り組みを協議し、具体化する。	青少年育成飯能市民会議から青少年関連団体へ活動の中で取り組んでもらうよう働きかける。 また、市民に直接働きかけるためのわかりやすいチラシを作成するため、事務局としてサポートする。	青少年育成飯能市民会議と協議の上チラシを作成し、非行防止キャンペーン等の行事で啓発を行った。 また、全戸配布を行う市民会議会報及び広報はんのう2月15日号に同様の記事を掲載した。	<B評価> 非行防止キャンペーン等の啓発を行い、予定どおり実施できたので期待どおり。 <今後の課題等> 青少年育成飯能市民会議会員の各母体団体でも同様の取り組みをしていただくよう理解を求めている。
	基本方針 III 地域の特色を生かした体験を重視し家庭・地域と連携した教育に取り組みます 1 家庭教育・地域教育の推進 新規目標 事業名 あいさつと感謝ができる子どもを育てる取り組みの実施					
2	生涯学習課	市の職員が市の取り組みや専門的知識・技術を提供することにより市民の生涯学習の一助とするとともに、講座を通して市の仕事を理解いただき、まちづくりに積極的な参加を促す。	昨年度実施回数は4回であった。今年度はより多くの利用を図るため、各課のメニューを掲載した「おしながき」を作成し、ホームページでの広報やチラシを公共施設に配置する。また、庁内での業務が行われた際の報告をいただくよう周知する。	年間利用回数として10回を目指す。	引き続き市民や庁内各課へ呼びかけを行い、活用と報告をお願いした結果、利用件数は21件となった。 (内容：歴史・文化財関係7件 防犯・防災関係12件 その他2件)	<A評価> 達成指数を超える利用件数があったので、期待を上回る。 <今後の課題等> 22年度中に一般及び庁内への周知がある程度図られたため、23年度以降も引き続き活用が図られるよう周知をお願いをしていく。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H21からの継続目標 事業名 学びとHANNO出前講座の実施					
3	生涯学習課	子どもが家庭から離れ、集団生活を送りながら通学する体験を通して、自主性・協調性・忍耐力・社会性を培い、心身ともにたくましい人間性豊かな子どもたちの育成を図る。	子ども家庭課及び加治東公民館と共催し、加治東小5・6年生を対象に6月30日(水)から3泊4日で実施する。 また、もらい湯は地元宅へ、調理補助スタッフは加治東食生活改善推進協議会に協力を仰ぐ。合宿生活の付き添いとしては駿河台大学に学生ボランティアを依頼する。	参加児童の自主性や社会性、忍耐力を伸ばすことを目的に実施する。 最終日に保護者と参加児童にアンケートを配布し、総合満足度を昨年度同様以上を目指す。	校長会議及び公民館担当者会議において説明を行い、来年度実施地区の選定を行った。 1月末現在、精明公民館もしくは双柳学習センターに会場を絞り、いずれかで行うべく両館に打診中である。	<B評価> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。 <今後の課題等> 両公民館の返事を待ち、今年度内には対象校と公民館の確保、開催時期の確定までを行う。あわせて地区の自治会等の関係団体へもらい湯の協力などをお願いに伺う。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H21からの継続目標 事業名 通学合宿の実施					
4	生涯学習課	一般市民の文芸の発表の場として、幅広く親しんでもらえる文芸誌を発行する。	編集委員及び選考委員と連携し、市民が親しみやすい文芸誌の刊行を目指す。事務局としては選考・編集作業がスムーズに行われるようサポートを行うとともに、作業の進行管理にも配慮する。	より多くの作品を掲載できるようページ数を増やし、第31号を刊行する。	1月末現在、概ね年度当初のスケジュールどおりに選考・編集作業が進行している。全体のページ数を前号よりも12ページ増やすことにより、より多くの作品を掲載できることとなった。(2月末納品)	<B評価> ページ数を増加し、納品も完了したことから期待どおり。 <今後の課題等> 投稿者の裾野を広げるためのPR方法の工夫、初心者対象の俳句講座等の開催について検討を行う。また、編集・選考委員の複数年委嘱についても今後検討を行う。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実 H21からの継続目標 事業名 文藝飯能の刊行					
5	生涯学習課	市民の様々な生涯学習ニーズに対応するため、庁内各課に蓄積されている講師や指導者情報を収集し、生涯学習人材バンクとして整理する。	生涯学習人材バンク「学び案内人」は、平成16年度の立ち上げ以来、更新が滞っている。新たに公民館を中心とした各課の講師等の情報を集約し、内容を更新する。また、公民館等と連携して活用方法についても定めておく。	生涯学習人材バンク「学び案内人(改訂版)」を作成し、生涯学習課ならびに公民館等に配置する。また、効果的な活用を図るよう、市広報やホームページによるPRを行う。	公民館担当者及びIT担当と協議し、庁内グループウェアのキャビネットに人材バンクを掲載して各公民館と生涯学習課のみが活用することとした。最終的詳細は、3月の公民館担当者会議で確定する。	<B評価> 内容の更新が完了し、概ね目的を達成したので期待どおり。 <今後の課題等> 人材バンクの詳細が固まり次第、各公民館と生涯学習課が講師登録にあたって本人の了解をもらう。データが集まり次第、グループウェアに掲載して活用が図られるようにする。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 4 学習成果の還元 新規目標 事業名 生涯学習人材バンクの充実					

6	生涯学習課	生涯学習の様々な分野で活動する団体等に発表の場を提供し、広く市民に知っていただく。さらにその出会いの中から新たな生涯学習のきっかけ作りを創出する。	例年実施している2月～3月には市民会館の改修工事が行われるため、実行委員会と協議し、今年度は会場を変えて実施することとした。会場に合わせた開催内容に改めるため、引き続き実行委員会と協議していく。	実行委員会と連携をとり、年度下半期に生涯学習フェスティバルを開催する。市民満足度ははかるため、参加者及び来館者にアンケート調査を実施する。「参加して良かった」、「来てみて良かった」の割合70%以上を目指す。	従来の展示・体験やステージ発表のほか、屋外に「すいーとん」や「カレー」などの物販・飲食コーナー、図書館分室の臨時開館も協力いただき、にぎやかに開催することとなった。	<p><B評価></p> <p>予定どおり開催したことから期待どおり。</p> <p><今後の課題等></p> <p>23年度は市民会館に会場を戻し、全館を利用して「わいわい祭り」や「青少年健全育成のつどい」の要素も取り入れるべく、新体制の実行委員会で検討していく予定である。</p>
	基本方針	IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます				
事業名	H21からの継続目標					
生涯学習課	植物調査を実施し、市内の植物生育状況を把握する。	・植物の種、群落の調査を実施し、市内の植物生育状況を明らかにするため群落の下調査を実施する。 ・種、群落の保存措置の基礎資料を作成する。 ・22年度は飯能・吾野・東吾野地区を対象とするが植物生育時期に踏まえ柔軟に対応する。	・植物の種、群落の所在を把握し、地域の生育種を確認する。 ・飯能・吾野・東吾野地区の植物調査を実施する。	植物の種の調査、群落の調査を実施した。龍泉寺裏のウラジロガシ林（名栗地区）などの群落調査を実施し、特徴的な群落を把握することができた。	<p><B評価></p> <p>特徴的な群落を把握するなど期待どおり。</p> <p><今後の課題等></p> <p>群落の調査をすすめることにより、飯能の全体の特徴的な植生を知ること。</p>	
基本方針	IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます					
事業名	H21からの継続目標					
生涯学習課	文化財情報誌、文化財マップを発行し、文化財の普及活用を図る。	・文化財情報誌、文化財マップを作成し文化財の普及活用を図る。 ・文化財印刷物を利用した文化財めぐりを実施し、文化財を親しみやすいものとする。	・文化財印刷物及び同印刷物を利用した文化財めぐりなどを実施して、市民の文化財への関心を高める。 ・親子文化財めぐり、市民の文化財めぐりを実施する。なお、参加者はそれぞれパスの定員(25名)までとする。	3月15日に吾野、原市場方面の文化財めぐりを実施し、26名が参加した。文化財印刷物の利用を通して市内の文化財に親しむきっかけづくりができた。	<p><B評価></p> <p>予定どおり文化財めぐりを開催したため期待どおり。</p> <p><今後の課題等></p> <p>文化財めぐり参加者が日常的に、文化財や歴史に親しむことができるよう更に高めていくこと。</p>	
基本方針	IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます					
事業名	H21からの継続目標					
生涯学習課	埋蔵文化財出土品整理活用事業及び出土遺物収蔵庫整理事業を実施する。 ・収蔵庫の移転を行い、収蔵台帳を整備する。	・埋蔵文化財出土品整理活用事業及び出土遺物収蔵庫整理事業を進める。また収蔵庫の移転は民間委託により行い、小中学校の余裕教室を借用し、夏休みに実施する。	・整理作業を行い報告書作成作業を進め、報告書刊行の準備をする。また収蔵庫の移転に伴い収蔵台帳を整備し、活用依頼に対応できるようにする。さらに収蔵庫を移転する小中学校へ展示施設を設置し、学校及び地元への文化財の普及啓発を図る。	出土品整理活用事業によって未整理の遺跡の整理が順調に進んだ。収蔵庫の移転は順調に行われた。収蔵庫の移転先である学校への展示作業を実施し、文化財の普及啓発を図った。	<p><B評価></p> <p>予定どおり遺跡の整理が進んだので期待どおり。</p> <p><今後の課題等></p> <p>展示施設による普及啓発が継続するよう工夫を図ること。</p>	
基本方針	IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます					
事業名	新規目標					
生涯学習課	平成21年度に刊行した普及書の成果を最大限に生かし、郷土館との共催により特別展を開催する。	普及図書作成時に収集・整理した各種の資料やデータを元にして、展示に必要な情報を整え、郷土館へ提供する。 展示企画や作成は郷土館学芸員が行い、当課は展示品の整備や展示に必要なデータの作成を行う。	・郷土館と事前に打ち合わせを行い、両者の分担を明確にし作業に取り組む。 ・普及図書の成果を最大限に活用して実施する。 ・展示の説明会を実施する。	郷土館と打ち合わせを十分に行い役割を分担し、特別展に取り組んだ。普及書の成果を十分に活用することができ、特別展は成功裡に終了した。職員による講座も行われ、特別展の理解を深めた。	<p><B評価></p> <p>特別展を開催することができたので期待どおり。</p> <p><今後の課題等></p> <p>特別展の成果を起爆剤にして、更に展示等を進め文化財の普及啓発を図ること。</p>	
基本方針	IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます					
事業名	新規目標					
生涯学習課	『発掘調査でわかった飯能の歴史展』共催事業					

4. 体 育 課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に対応した、健康づくり事業を展開する。	・エクササイズウォーキングについては、リピーターコースを設け、更なるレベルアップと、エクササイズウォーキングのサポーターとしての自覚を持ってもらう。 ・健康な生活を送るための体力維持と向上を目的に、新たに『バランスUPエクササイズ』（仮称）を開催する。	・各講座定員の90%以上の参加者を目指す。 ・補助指導員を養成する。	・公民館との共催により予定どおり開催し、定員の90%以上の参加者を得られた。 ・バランススティック講座を東吾野公民館で開催し好評を得ることができた。平成23年度は巡回教室として開催する。	<B評価> 目標の参加者を得ることができたので期待どおり。 <今後の課題等> ・講座終了後の自主グループへの移行が課題となっている。 ・エクササイズウォーキングを中心とした計画的な健康体力づくり事業の展開が重要である。
	事業名 健康体力づくり事業					H21からの継続目標
2	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	ウォーキングによる健康づくりを進めるため、公民館や地域団体と連携を図り、市民健康ウォーキングを開催する。	・健康づくり推進室、体育協会、公民館と連携し、市民参加の拡大を目指す。 ・公民館ごとにウォーキングイベントを開催する。 ・各公民館に作成したコースマップを活用する。	・飯能市健康体力づくり推進事業による各ウォーキングイベントで、前年度を上回る参加者を目指す。	・メイン大会として加治地区、両吾野地区で開催し好評であった。 ・各公民館での市民健康ウォーキング大会、健康づくり推進室でのスゴ足イベントを開催した。	<B評価> 予定どおり開催できたので期待どおり。 <今後の課題等> 各公民館単位で開催するため、公民館との連携は不可欠であり、大会の周知方法についての検討も必要である。
	事業名 ウォーキングのまちづくり					H21からの継続目標
3	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、運営方法の改善、コース整備などを実施し、安全で快適な大会を目指す。	・コースの危険箇所等の改善等で安全で快適な大会とする。 ・諸会議の開催方法を再検証する。 ・第10回大会に向けて準備を始める。	・大会参加者2日間で15,000人の参加 ・第10回大会に向けた準備委員会の立ち上げ	・第10回大会に向け、統括部会を中心に準備を始めた。 ・第9回大会より吾野コースを開設することが決定し、コース部会を中心にコース設定を行っている。 ・第8回大会の反省を活かしながら、スムーズな大会運営ができるよう第9回大会の準備を進めていく。	<A評価> 予定どおり大会を開催し、吾野コースの準備もできたことから、期待を上回る。 <今後の課題等> ・第10回大会の準備を第9回大会と平行して進めるため、必要に応じて諸会議を開催し、進捗状況を確認することが重要である。 ・各コースの危険箇所の確認、安全対策を進めていく。
	事業名 飯能新緑ツーデーマーチ					H21からの継続目標
4	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	参加チームが安心して走れる環境を整えようと、市民に感動と活力を与えるよう更に充実を図る。	・参加チームの決定方法（承認後の取消対応等）について、陸上競技協会等と協議をする。 ・登録選手の確認方法等の改善	・参加チーム数の上限220チームを目指す。 ・競技上の事故「0」を目指す。	214チームの参加と、関係各位の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催できた。 出場チームの上限220チームに対して256チームの応募があった。	<A評価> 上限に近い参加チーム数及び事故「0」であったため、期待を上回る。 <今後の課題等> 参加チームの増加に伴い、交通規制や繰り上げ時間等について、関係団体及び飯能警察署と引き続き協議を行う。
	事業名 奥むさし駅伝競走大会					H21からの継続目標
5	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	体育協会をはじめとする、各種スポーツ・レクリエーション団体等の活動を支援する。	・競技団体の活動内容に応じた支援方法を体育協会と連携しながら検討する。 ・補助金を交付する。	・補助金の支援基準を作成する。	・体育協会で補助金交付団体に対し報告様式を提示した。 ・補助金の支援基準については、各団体の状況を確認しながら再検証していく。	<C評価> 補助金の支援基準の再検証を続ける必要があることから、期待をやや下回る。 <今後の課題等> 適正な補助金の交付や活動支援方法について、NPO法人飯能市体育協会と協議をしていく。
	事業名 スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援					H21からの継続目標

6	基本方針	<p>体育課</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体づくりの充実</p>	<p>スポーツ・レクリエーション活動を促進するため、スポーツ教室を実施する。</p>	<p>・体育協会にスポーツ教室等の開催を委託する。</p> <p>・体育協会と連携し、スポーツ教室等のPR・募集方法等を再検証する。</p>	<p>・各種スポーツ教室を実施し、前年度を上回る参加者を目指す。</p>	<p>予定していた教室を開催することができた。前年度を上回る参加者であった。</p>	<p>< B 評価 ></p> <p>予定どおり開催できたので期待どおり。</p> <p><今後の課題等> スポーツ・レクリエーション活動を更に促進するため、新たな参加者の確保が重要になってくる。</p>
	事業名	<p>H21からの継続目標</p> <p>スポーツ教室等の開催</p>					
7	基本方針	<p>体育課</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体づくりの充実</p>	<p>元オリンピック選手が集う『はつらつママさんバレーボール』を開催し、スポーツへの参加を促す。</p>	<p>・飯能市バレーボール連盟との連携を図る。</p> <p>・駿河台大学（会場）との連携を図る。</p> <p>・関係団体との連絡調整を行う。</p>	<p>・実行委員会の立ち上げ</p> <p>・参加者数（入場者）1000人規模の大会を目指す。</p>	<p>・飯能市バレーボール連盟、駿河台大学を始め、関係団体と連携を図り盛大に開催することができた。また、この事業の開催を通じ、駿河台大学との連絡・連携体制が深くなったと感じている。</p>	<p>< A 評価 ></p> <p>大会も盛大に開催され、大学との連携も図れたので、期待を上回る。</p> <p><今後の課題等> 駿河台大学と連携を図りながら、新たな事業展開を検討していく。</p>
	事業名	<p>新規目標</p> <p>はつらつママさんバレーボール</p>					
8	基本方針	<p>体育課</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上</p>	<p>市民球場、阿須ソフトボール場等の改修工事等を行い、利便性・安全性を向上させる。</p>	<p>・利用者の要望に応える改修工事の実施</p> <p>・都市計画課、体育協会と連携し、修繕箇所・方法を検討する。</p>	<p>・予定工期内完成</p> <p>・ソフトボール場改修工事：6月末</p> <p>・市民球場温水シャワー：6月末</p> <p>・ソフトボール場：3月末</p> <p>・施設修繕計画の策定</p>	<p>・ソフトボール場改修工事も12月末に完成し、予定工期内に全ての工事が終了した。</p> <p>・都市計画課、体育協会と連携し、修繕箇所・方法を検討した。</p>	<p>< B 評価 ></p> <p>予定工期内にすべてが完成したので期待どおり。</p> <p><今後の課題等> 開設から20年が経過し、経年劣化による修繕箇所が出てきており、大規模な改修費用が必要になる。引き続き都市計画課、体育協会と連携し、修繕箇所・方法を検討する。</p>
	事業名	<p>H21からの継続目標</p> <p>施設修繕計画の策定</p>					
9	基本方針	<p>体育課</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上</p>	<p>指定管理者と連携し、効果的な管理運営に努めると共に、施設の利便性の向上のため、利用時間の延長などを進める。</p>	<p>・市民のニーズを把握する。</p> <p>・リアルタイムな情報提供の方法を検証する。</p> <p>・利用時間の延長、月曜開館を目指す。</p>	<p>・利用者アンケートの実施</p> <p>・体育協会ホームページを充実し、リアルタイムの情報提供</p> <p>・月曜開館をする上でのメリット・デメリットの検証を依頼した。</p>	<p>・体育協会のホームページをリニューアルし、リアルタイムな情報提供が可能になった。</p> <p>・月曜開館をする上でのメリット・デメリットの検証を依頼した。</p>	<p>< B 評価 ></p> <p>ホームページの更新等も予定どおり完成したので期待どおり。</p> <p><今後の課題等> ・利用者アンケートの結果を検証し、実現できる部分から取り組むことが重要になってくる。</p> <p>・リアルタイムな情報提供ができるようホームページの運用が重要になる。</p>
	事業名	<p>H21からの継続目標</p> <p>利用者サービスの向上</p>					

5. 図書館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 1 生涯学習推進体制の整備	平成23年3月中に基本設計を完了する。	・新図書館については、公募型プロポーザル方式を実施することと決定した。選定委員会の要領を定め、委員会を開催し、設計者の選定、契約の締結をし、設計をしていく。 ・設計に着手するまでの期間が限られているので慎重に速やかに会議運営を進めていく。	・6月下旬までに設計者決定 ・6月下旬から7月初旬までに契約締結 ・契約締結後に設計打合せ ・検討委員会で市民の声を設計に反映していく ・平成23年3月下旬までに基本設計完了	飯能市新図書館設計検討委員会を2回開催し、基本設計(案)を市民に公開し、市民説明会を開催した。市民意見をまとめ、その後2回の設計検討委員会に諮り、教育委員会定例会、行政経営会議を経て市議会への報告をし基本設計を終了した。	<B評価> 基本設計を予定どおり終了したので期待どおり。 <今後の課題等> 市民説明会、市民への意見募集で多くの意見をいただき新図書館への期待が大きいことが確認できた。市民の求める新図書館の建設に向け、運営等の検討を含め次年度への建設に繋げていきたい。
	新規目標 事業名 「飯能市新図書館基本計画」に基づき、新図書館建設に向けて設計を行なう					
2	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	・新図書館開館に向けて資料の見直しをし、山手文書庫内の資料の整理をする。 ・視聴覚資料の収集について検討する。	・山手文書庫内の資料を「飯能市図書館資料収集方針」「飯能市図書館資料除籍基準」に基づき、約50箱(2,500冊)を整理する。 ・視聴覚資料については収集基準を定め、方針を決定し総合振興計画実施計画への盛り込み、次年度での予算確保をしていく。	・山手文書庫内の資料を要・不要に分類整理した後、有効活用と廃棄等をし、8月の取り壊し前までにすべて処理する。 ・総合振興計画実施計画に視聴覚資料の必要経費等を盛り込む。	・山手文書庫内の資料整理を完了した。 ・視聴覚資料の予算を実施計画には盛り込んだが、平成23年度予算分には反映されなかった。	<B評価> 予算に反映できなかったが資料整理は完了したので期待どおり。 <今後の課題等> 新図書館については基本設計が終了したことにより、実施設計を経て建設へ向かうことになる。各計画や予算を鑑みての中で資料整備、収集をし市民ニーズに応えられる図書館を創って行くことが課題である。
	新規目標 事業名 図書資料の収集・整備とともに視聴覚資料収集の検討					
3	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	月曜日を月1回開館し、市立図書館、こども図書館の年間トータルでの利用者数、貸出冊数を昨年度より増とする。	今まで月曜日は定例休館日であったので、月曜日に利用できなかった方々への開館の周知・浸透を図る。 さまざまな方法でのPR(現行の方策に加え、ポスター・チラシの作成・配布)をし利用の推進をして多くの人に利用していただくことが課題である。	市立図書館、こども図書館の年間を通しての利用者数、貸出冊数を昨年度より増とする。 目標値 総利用者数 73,000人 総貸出冊数 320,000冊	月曜日の定例休館日を第3月曜日には開館することの周知を行い利用者サービスに努めた。 結果として目標値を上回る利用者、冊数があり増となった。 総利用者 73,340人 総貸出冊数 320,495冊	<A評価> 目標値を上回る利用者、冊数のため、期待を上回る。 <今後の課題等> 現行の月曜、祝日休館日等の見直しを新図書館開館に照準を合わせ検討していくことが課題である。開館時間の延長や休館日の拡大による利用者サービスがどの程度可能か、費用と効果の検証を含めて必要である。
	新規目標 事業名 休館日の月曜日を月1回開館し、利用者サービスの向上を図る。					
4	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	各課所、団体、学校等と連携し、推進のための各事業ごとの取組計画を作る。	平成22年度に「飯能市子ども読書活動推進計画」を策定したので、今後、各取組事業ごとの推進計画を作成後に、これを活用して推進することが課題である。	・前期に取組計画を作成する。 ・後期に活用と推進をする。	・取組計画を作成し周知をした。	<B評価> 予定どおり計画を策定及び周知できたので、期待どおり。 <今後の課題等> 取組計画を充分周知し取り組んでいくことが課題である。
	H21からの継続目標 事業名 「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき計画の活用と推進を図る					
5	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	「子ども読書活動推進計画」の活用と連動して年代に応じた子どもの読書活動の場の確保と環境整備をしていく。今年度は利用の少ないヤングの利用者増を図る。	市立図書館のジュニア図書コーナーは利用が少ないので、こども図書館から市立図書館への子ども達の利用がスムーズに移行できるような方策を考える。図書の見直しや、利用促進のPRをしていく。	市立図書館内の中高生のためのジュニア図書コーナーの利用者増を図る。	ジュニア図書を選書し、ダブリ本等を除き200冊の本を新規登録をした。利用冊数については若干の増が見られた。	<B評価> 利用者数に若干の増があったので、期待どおり。 <今後の課題等> どの年代の利用者へもサービスを提供していくことが公立図書館の任務として当然であるが、この年代のニーズを汲むことの必要性を感じる。
	新規目標 事業名 すべての子どもがあらゆる機会と場所において自主的な読書活動が行なわれるよう環境の整備を進める					

6. 公民館調整担当

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	公民館調整担当	災害時において、 現地災害対策本部や 避難所として公民館 及び学校体育館が速 やかに機能するよう にする。	飯能市地域防災計画に 基づき、災害時におい て、現地災害対策本部や 避難所として公民館及び 学校体育館が速やかに機 能するよう、様々なケー スをシミュレーションし 確認する。	各公民館における 災害時の対応チェッ クシートを作成し、 職員対応の確認(四半 期ごと)を行う。	館長会議・担当者会 議で研修及び自主防災 会リーダー研修会へ参 加するとともに、災害 時のチェックシートに よる職員対応の確認(四 半期ごと)は、100%実 施できた。 また、各地域で自主 防災会等と協力しなが ら防災訓練を行った。	<B評価>
	基本方針 IV「生涯学習のまち ・飯能」を目指し て取り組みます 2 生涯学習機会の充実					事業名 公民館における防 災・防犯対策
2	公民館調整担当	市民が健康づくり 事業に、参加しやす くなるような方策を 講じる。	市民の健康づくりの底 辺を広げる方策について 関係課とともに検討し、 公民館で効果的に推進で きるようにする。	各地区において、 市民が身近な健康づ くり事業に参加でき る仕組みについて関 係課と検討し、公民 館事業への参加者増 員(対前年度比)を図 る。	健康づくり事業のウ オーキング等に対する 市民の取り組みが、各 地域を越えて参加す るなど推進され参加者の 増員ができた。 参加者人数6,926人 (前年度4,901人)<3月末 現在>	<A評価>
	基本方針 IV「生涯学習のまち ・飯能」を目指し て取り組みます 2 生涯学習機会の充実					事業名 公民館における健康 づくり推進事業
3	公民館調整担当	公民館を生涯学習 及び地域コミュニ ティの拠点施設とす る。	「はんのう ふくしの森 プラン」等を参考に高齢 社会における公民館の役 割りについて関係課とと もに検討し、今後、公民 館で行う業務を明確に し、それを実施するた めの体制づくりについて 検討する。	生涯学習及び地域 コミュニティの拠点 施設として、公民館 の活用と今後のあり 方についての方策と 職員体制についてま とめる。	事務局内の「公民館 のあり方」検討委員会 を開催するとともに、 市長部局との調整も行 い、「今後の公民館の あり方について(報告 案)」を作成した。	<B評価>
	基本方針 IV「生涯学習のまち ・飯能」を目指し て取り組みます 2 生涯学習機会の充実					事業名 公民館の活用と今後 のあり方に関する検 討

7. 公民館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・ ・飯能」を目指して 取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H21からの継続目標	生涯学習の拠点施設として、各館で特色や人気のある学級講座を開催する。	互いに関連のある事業は関係課との連携を深めながら、子どもから高齢者まで総合的な学習機会の提供を心がける。また、多様な学習ニーズに応えたり、地域の特色を生かすような事業を展開する。	市民が地域外の公民館に出向くような講座になるように、各館で特色のある学級講座を1つ以上開催する。	各公民館で市民ニーズを考慮しながら、工夫を凝らした特色のある事業を開催した。人気のあるものは定員までわずかの時間で達するものさへあり、人気を呼んでいる。	< A 評価 > 特色のある講座、人気のある講座を展開でき、関係課及び団体との連携を図れたので期待を上回る。 < 今後の課題等 > 時代に即したものをテーマとして取り上げ、市民ニーズをつかむ必要がある。地域外の参加者の確保も考え、公民館全体で連携・協力・調整しながら進めていく必要がある。
	事業名 学級講座の充実					
2	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・ ・飯能」を目指して 取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H21からの継続目標	市民の健康づくりを推進するため、各館で工夫したものや全館で統一した教室・講座を開催する。	限られた人員の中で、各館での事業を拡大させていく。スゴ足手帳を活用しながら、関係課との連携・調整も進めていく。	・健康づくり事業をさらに発展させ、誰もが参加できるような教室・講座等を各館で前年より多く開催する。 ・ウォーキングマップを中心に各地区のコースを1コース以上歩く事業を開催する。	各地区でウォーキングマップを1コース追加し、マップを中心に歩く事業が開催された。スゴ足イベントも各地域で開催され、うなぎ上りに参加者が増えている。公民館共通テーマである「地域で進める健康講座」も各地域で開催し、好評を得た。	< A 評価 > スゴ足イベントも好評を得るなど、健康講座も含め、参加者数が期待を上回る。 < 今後の課題等 > 市民の健康づくりに対する関心は高い。各館・地域で数多く開催しているが、総合的な日程調整も考えられる。地域によっては、参加者の確保も今後検討する必要がある。
	事業名 健康づくり関連講座の充実					
3	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・ ・飯能」を目指して 取り組みます 2 生涯学習機会の充実 新規目標	市民の安全を守り、安心した生活を送れるようにするため、各館で工夫したものや全館で統一した教室・講座を開催する。また、災害時等において避難所として機能するように体制づくりを進める。	限られた人員の中で、各館での講座・教室・訓練をしっかりと実施していく。また、関係課との連携・調整も進めながら、地域防災計画を基に体制づくりやあらゆる場合の対処を想定していく。	誰もが参加できるような防災・防犯に関する教室・講座等を各館1回以上開催する。災害時に避難所として果たす役割を関係課と検討し、まとめる。	・各地域で自主防災会等と協力しながら防災訓練を行った。 ・振り込め詐欺の被害を出さないために、生活安全課と連携し、防犯教室を開催した。 ・危機管理室による災害時要援護支援者リスト作成の準備も行った。	< B 評価 > 避難所運営マニュアルの作成、防犯に関する教室を開催できたので期待どおり。 < 今後の課題等 > 内容の充実と市民意識の高揚を図る必要がある。年々やることが増えるので、公民館だけの少ない人数では負担が多い。地域との連携が欠かせない。
	事業名 防災・防犯に関する対策の整備・充実					
4	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・ ・飯能」を目指して 取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H21からの継続目標	老朽化している公民館を安全で高齢者でも使いやすい施設に改修する。	公民館は避難所であるが耐震診断の計画が立てられていないことや、年々老朽化が進み、限られた予算の中では応急処置的なものになってしまっている。予算要求時に写真などわかりやすいものやデータなどを添付し、明確にしていく。	総合振興計画後期基本計画期間内での工事及び大規模修繕計画の策定をする。	東吾野公民館の空調設備の改修工事や、昭和56年以前設計の4館の耐震診断は23年度は加治東、24年度は第二区、25年度は中央・加治と予定された。耐震診断によって翌年度以降の改修工事の予定も決まってくる。	< B 評価 > 空調改修工事、耐震診断の計画が策定できたので期待どおり。 < 今後の課題等 > 耐震診断の結果しだいでは、避難所にもなっているので、市民の安全を守るため、改修工事を行わなければならない。老朽化が進む館では、将来のことを考え、建て替えも検討の一部と考えられる。
	事業名 安全で使いやすい施設への整備・充実					
5	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・ ・飯能」を目指して 取り組みます 2 生涯学習機会の充実 新規目標	公民館を地域コミュニティの拠点施設として進めていけるかの方策や今後の方向性について検討する。	今後の公民館のあり方・役割について検討し、館長会や担当者会議で達成方法や体制づくりなどについても確認していく。	公民館の今後のあり方・活用の仕方についての方策を検討し、まとめる。	公民館のあり方検討部会を設置し、2回会議を開催した。館長会だけでなく、担当者会議でも話し合いを持ち、今後について意見を出し合い、公民館の社会教育の必要性、地域性について話し合った。	< B 評価 > 公民館のあり方検討部会の設置及び会議の開催など、期待どおり。 < 今後の課題等 > 生涯学習の拠点施設なのか、地域の総合拠点施設なのか、どちらが主体となるかが課題である。いずれにしろ地域の拠点施設には変わりはない。
	事業名 地域の拠点施設としての整備・充実					

8. 郷土館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	郷土館	<ul style="list-style-type: none"> ・博学連携事業参加型の市民学芸員を増やすことによって、小学3年生見学対応をより充実させる。 ・収蔵史料の翻刻や史料集の刊行などにより、地域の新しい歴史像を市民に提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報はのうで周知し、参加者を募集する。 ・養成講座はどの育成分野でも共通するものとして博物館概論と育成分野ごとの専門研修とに分けて実施する。また、講師は、駿河台大学の教員などにも依頼し、大学の学芸員養成課程に近いものをめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博学連携事業、古文書整理共に受講者の8割以上が市民学芸員として認定される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博学連携参加型 12名受講 全13回修了 11名市民学芸員認定 ・古文書整理型 17名受講 全12回修了 15名市民学芸員認定 	<p style="text-align: center;">< A 評価 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者の8割以上を市民学芸員として認定できたので期待を上回る。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実 新規目標 事業名 市民学芸員養成事業					<p style="text-align: center;">< 今後の課題等 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションを維持させる。 ・Ⅳ期とⅤ期の市民学芸員の協調を図る。
2	郷土館	これまで整理を進めてきた名栗地域の写真資料について収蔵資料目録を刊行する。これにより資料データがさらに蓄積され、収蔵資料の検索を容易にし、資料の活用の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真カードの整理 ・写真情報の聞き取り調査 ・調査成果の分析 ・原稿作成、目録編集 ・印刷の発注 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月末までに「写真資料目録」を刊行する。 	1月…原稿完成 2月…原稿入稿 3月…印刷完了刊行	<p style="text-align: center;">< B 評価 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料目録5号が予定どおり刊行したので期待どおり。
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実 新規目標 事業名 収蔵資料目録5号刊行事業					<p style="text-align: center;">< 今後の課題等 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目録をできる限り多くの人に周知し、写真の活用を推進する。